

ゆったり

石野

Ishino area, Toyota city
REAL LIFE BOOK

自然と利便。
ほどよい暮らし。



ゆったり 石野

Ishino area, Toyota city
REAL LIFE BOOK

CONTENTS

- 1 はじめに ようこそ石野へ
- 3 かんじる 石野の風景より
- 7 うけつぐ 石野で息づく 伝統・文化
- 11 つながる 石野の人って温かい、というお話
- 15 まなぶ 石野の学校っておもしろい!
- 17 はぐくむ 石野はみんなで子育て!
- 19 あそぶ 石野なら大人だって本気で遊べる!
- 21 くらす つくる暮らし
- 24 くらす あそぶ暮らし
- 25 くらす 支える暮らし
- 26 くらす 見つけた暮らし
- 27 しる 石野ってこんな場所
- 29 やくだてる 定住を応援!各制度情報

あなたが探していた暮らしが、石野からはじまります。

ほどよく田舎、ほどよく便利。

愛知県豊田市石野地区は、地域差はありますが総じて田舎です。でも、市街地へのアクセスが意外と便利です。「カントリーライフを思いきり楽しみたい!」「田舎に住みたい。だけど、利便性も欲しいな…」そんな要望にお応えできる穴場的スポットなんです。本誌が、理想の暮らしを求めるあなたとのご縁を結びますように。



ACCESS

- 名古屋方面から**
東名高速道路名古屋IC
▼名古屋瀬戸道路「足助」方面へ
▼猿投グリーンロード「カ石IC」
- 豊田方面から**
東海環状自動車道「豊田勘八IC」
豊田市内より国道153号平戸橋から足助方面へ車で5分
- 関西方面から**
東名阪自動車道「四日市JCT」
▼伊勢湾岸自動車道「豊田東JCT」
東海環状自動車道「豊田勘八IC」
- 関東方面から**
東名高速道路「豊田JCT」または新東名高速道路「豊田東JCT」
▼東海環状自動車道「土岐JCT」方面へ
東海環状自動車道「豊田勘八IC」

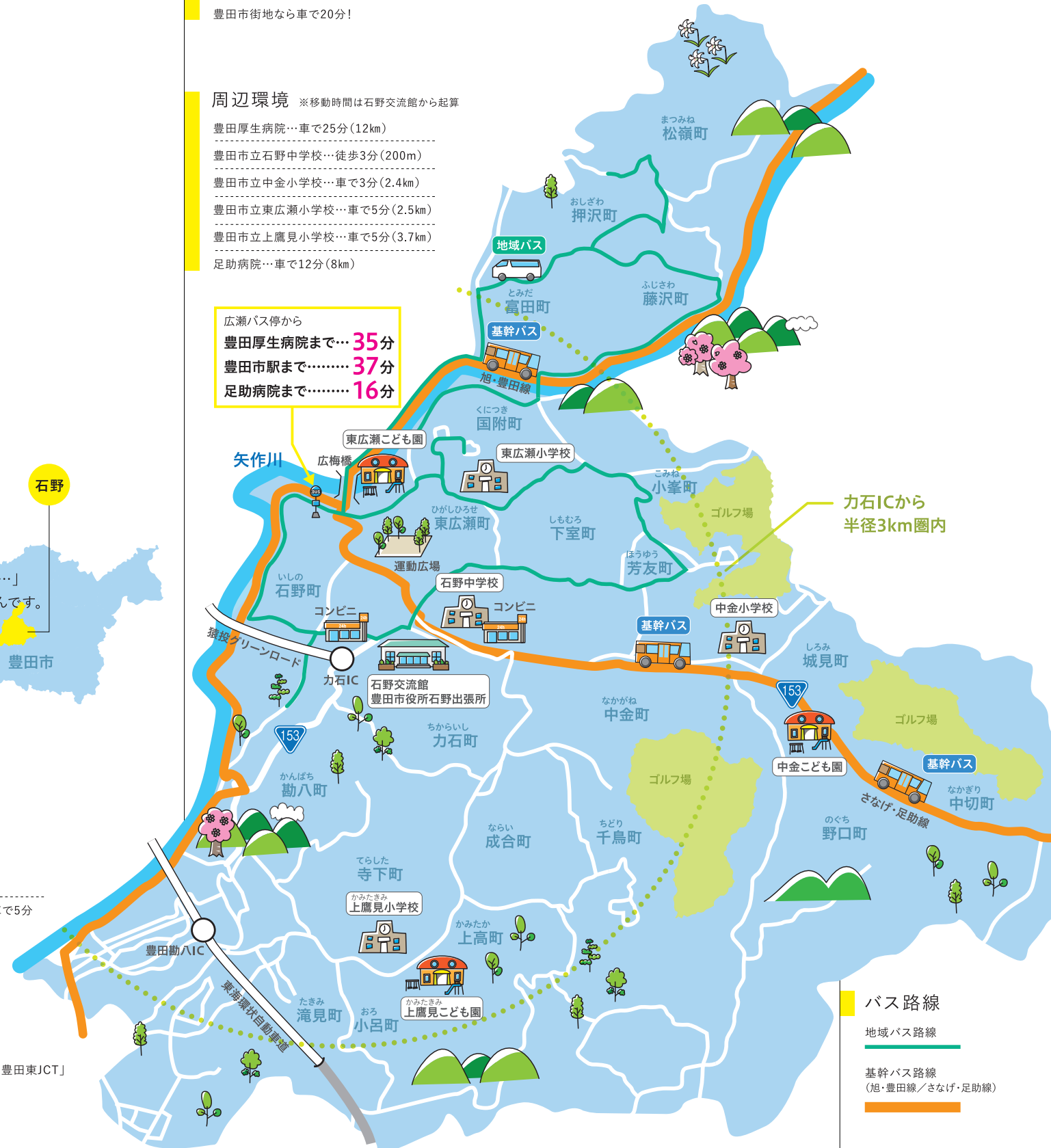
市内外への通勤が意外と?便利!

猿投グリーンロードを通れば名古屋ICまで車で35分!
豊田市街地なら車で20分!

周辺環境 ※移動時間は石野交流館から起算

- 豊田厚生病院…車で25分(12km)
- 豊田市立石野中学校…徒歩3分(200m)
- 豊田市立中金小学校…車で3分(2.4km)
- 豊田市立東広瀬小学校…車で5分(2.5km)
- 豊田市立上鷹見小学校…車で5分(3.7km)
- 足助病院…車で12分(8km)

広瀬バス停から
豊田厚生病院まで…**35分**
豊田市駅まで…**37分**
足助病院まで…**16分**



カ石ICから
半径3km圏内

バス路線

- 地域バス路線
- 基幹バス路線
(旭・豊田線/さなげ・足助線)



scenery

石野を感じる。

あなたが探していた暮らしが、石野からはじまります。





scenery



とっておきの1枚が
いつもどこかで、撮れるまち。



1 勘八峡

昭和初期にダムができる前は深くて風光明媚な峡谷だった勘八峡。今では幾艘ものボートが静かなダムの湖面を滑走する姿が見られます。

2 ささゆり

5月下旬から6月上旬にかけて山間の谷間に咲き誇ります。石野の子どもたちや有志の手で保護され、受け継がれている地域を代表する花です。

3 大谷山

石野地区南部の小呂町の大谷山(おおやま)頂上にある花崗岩の巨岩頂部からの眺めが絶景。豊田スタジアムや豊田大橋が望めます。

4 おいでんバス

石野に暮らす人々にとってなくてはならない公共交通機関「おいでんバス」。通学や通勤、お買い物に…と、石野地域を北へ南へ走ります。

5 登校時間

小規模校が多い石野。高学年も低学年も関係なく、子どもたちがみんなで仲良く登校する姿も石野ならではの風景です。

6 三河広瀬駅

平成16年(2004)に猿投駅以北の名鉄三河線が廃線となった後も、今なお残る三河広瀬駅。地元住民の努力で今も美しい景観を残す、石野随一の映えスポットです。

7 岩倉神社 農村舞台

築200年以上の農村舞台。江戸時代には村人が自ら演じたり見物人となって集う娯楽の殿堂でした。今も石野歌舞伎保存会が公演を開いています。



tradition

代々にわたり受け継ぎ、守るべき石野の文化があります。

受け継ぐ伝統と文化。



万燈まつり

石野地区でも小峯町と芳友町のみで行われる、無病息災を祈る伝統のお祭り。「たいまつ」を振り回し、盛大に花火をします。たいまつを回すのは小中学校の男子児童。この日ばかりは子どもたちも豪快に火遊びができるのです。



1

1 石野歌舞伎

昭和39年(1964)に一度幕を閉じたものの、平成に入り岩倉神社の舞台を保存・活用する動きが活発になり再開。毎年10月には中金町の岩倉神社農村舞台で公演を行い、歌舞伎ファンを唸らせます。

2 巫女舞

地元の子ども(女兒)たちが巫女の姿に扮して、舞を奉納します。神に仕える巫女が神がかりして託宣するために舞ったという伝統を今なお伝える、神聖な儀式です。

3 藤沢水神祭り

筏や渡船の往来が盛んであった江戸時代から続く、川の安全祈願のお祭り。船に見立てた屋形を提灯で飾り、囃子方が水神囃子を演奏します。

自然と人とが育んだ、歴史が息づくまち。



2



3



tradition

石野地区の歴史・文化・行事や由緒ある建物

矢作川の水辺と山々の緑に囲まれた石野には、数々の名所・旧跡があります。どれもが次代へ伝えたい地域の魅力です。

1 源氏の瀨

矢作川で唯一昔からの姿を残す

現在、矢作川中流でみられる唯一の急流で、激しい流れが源氏の武士を思わせるところからその名がついたといわれています。週末になるとしぶきをあげて急流を下るカヌーが何艘も。カヌー競技のリオオリンピックメダリストもここで練習を積みましました。



豊田市富田町／豊田市街地から車で30分程

2 野口雨情詩碑

野口雨情の先祖とのゆかりの証

詩人・野口雨情の「七つの子」の詩碑。野口家は楠木正成一族の末裔と言われ、この地に身を隠した際に野口姓を名乗ったと言われており、その縁があり建立されました。野口という地名は野神社の入り口にあることからついたものと言われていいます。



豊田田野口町／豊田市街地から車で35分程

3 しゃくやく姫の塚

美しい姫の悲話を今に伝える

戦国期、現在の足助地区にあった黍生(きびゅう)城に美しい姫がいましたが、武田軍に攻められ野口まで逃げ、井戸に身を投げました。その井戸が埋められて塚となり、しゃくやくが咲くようになったためこの名があります。



豊田田野口町／豊田市街地から車で35分程

4 おはせの宮

知人ぞ知る石野が誇る奇岩

男性のシンボルと女性のシンボルを形づくっている非常に珍しい自然の巨石です。石野にはその名のおり、奇岩が多くあります。



豊田市中金町／豊田市街地から車で30分程

5 広瀬城址

矢作川に臨むかつての要塞の姿

眼下に矢作川を望む小高い山に、南朝の臣・児島高德が築城したとされる広瀬城の跡です。永禄3年(1560)、松平元康(のちの徳川家康)に攻められて落城しました。東広瀬町には城下、大手、蔵屋敷など、かつて城があったことを示す地名が残っています。



豊田市東広瀬町／豊田市街地から車で30分程

6 藤沢水神ロード

矢作の流れも目に眩しい、水辺のドライブコース

矢作川に沿って県道豊田明智線を北上し、藤沢町内に入ると徐々に林が開け、やがて右手に矢作川が望めます。この区間は地元住民が不要な竹木を切り、花を植えて景観を整備した藤沢水神ロードと呼ばれ、ドライバーやサイクリストの心を和ませるコースです。



豊田市藤沢町／豊田市街地から車で35分程



ISHINO TRADITION MAP



7 広梅橋から望む矢作川

東西の広瀬をつなぐ橋

東広瀬町の梅村源次郎翁が、東広瀬と西広瀬を結ぶ橋を架けたことから命名された広梅橋。西広瀬町の人々からも出資を得て昭和5年(1930)に完成しました。この橋に立ち、矢作川の雄大な流れに目をやれば、きっと心も安らぐでしょう。



豊田市東広瀬町／豊田市街地から車で30分程

8 目治し地蔵

ささゆりの群生地の際らに佇む隠れ地蔵

江戸時代に付近の岩を刻んで作られたと推定され、眼病を治すご利益があるとされています。地蔵が座るこの遣は、かつて下川口(藤岡地区)へとつながっていました。この地蔵様は、矢作川の船着場へと下る松嶺の人々を見守っていたのではないのでしょうか。



豊田市松嶺町／豊田市街地から車で40分程

9 廣濟寺

南北朝時代に建立された由緒ある寺院

南朝の臣・児島高德が父・範長や戦死した兵を弔うために結んだ草庵が起源とされる曹洞宗の古刹です。第二次世界大戦中、高名な人類学者で東洋学者のフォスコ・マラーニが過ごした場所でもあります。



豊田市東広瀬町／豊田市街地から車で35分程

10 小猿投山からの眺め

ここにも猿投山が？

小呂町には小猿投山と呼ばれる丘があり、ここからは猿投山を遥拝することができます。古くから地元の人々に祀られており、毎年10月には火祭りが行われます。晴れた日には、遥か西に名古屋駅の高層ビル群が望めます。



豊田市小呂町／豊田市街地から車で30分程



communication

いろいろな人が集い、支えあう場所が石野にあります。

まるで、みんなが家族。



ここに来れば、誰かがいる。

月曜サロン よっといでん

「シニアだけでなく、若い方も気軽に立ち寄れる場所でありたい」
目指すは、石野の未来を支える多世代交流。

開催場所：豊田市東広瀬町神田26番地1 石野の里

東広瀬町にある特別養護老人ホーム「石野の里」では、月曜日になると会話を楽しく笑い声で賑やかさが一段と増します。その源が、石野の里の地域交流ホールで開催される「月曜サロン」。平成30年(2018)12月にサロンをオープンして以来、地域を超えて欠かさず参加するグループや、開店前から並ぶ熱心なファンがいるほどの人気ぶりです。開店するとホール内はすぐに満席に。最近では、地域バスを利用して参加される利用者もチラホラ見えます。このサロンは、高齢者の皆さんがいつまでも元気に自立できることと、新たに転入された若い世代が地域に早く馴染み、住みやすいと思っただけのような地域づくりを

目指し、多世代が「気軽に集えるくつろぎの場所」として開設。コーヒーや昆布茶を飲み、スタッフが用意したおやつを食べながら時間を忘れてのおしゃべりは至福のひと時。毎月第3月曜には、ミニコンサートやミニ門松づくりなど季節のイベントを実施。取材日には地元の上鷹見小学校の児童たちが演奏会に訪れるなど、地域との交流も盛んです。今後は、「子育て世代のママ達にも来てもらえたら」と、代表の河原さん。石野の未来を支える若い世代が来やすく、みんなで子育てできる地域にするために、月曜サロンがその足掛かりになれば…と考えています。



障がいがあっても、輝ける。
もりね
森音の会

障がいをもっている人も、地域の人に理解され、働き、住み続けられる場所。
築100年の古民家を拠点に、自然の中、地域で働き、住み続けられることを夢見て。

所在地：豊田田野口町齊の神東343-2

障がいがある子とご家族の交流の場として、平成22年(2010)に生まれた森音の会。もともと、小学校の特別支援学級に通う親子が集まっていましたが、「子どもたちが将来、このまちで住み働き続けられるための場所でありたい。」という想いから、学校や事業所とは異なる第三の場所として立ち上がりました。ご家族によるボランティア活動をベースに、ママ会や講演会、バザーといった催しを月に第4日曜と他数回、ゆるりと行って門戸を開いています。

森音の会の活動拠点は、築100年は経つという古民家。まるで田舎のおばあちゃん家を思わせる土間や縁側がある空間で、子どもたちが軽作業をしたり、衣類や食器、文具といった雑貨を販売・管理するなども好評なのは、森音の会とご縁がきっかけで出張販売に来てくれる、百元屋さんの日替わり500円ランチ。森音の会オリジナルのワッフルやドリンクも人気です。また、もりねバザーとして森音

の会だけでなく地域のイベントにも出店。1年に1度森音の会で開く「もりねバザーまつり」は多くの人で賑わいます。障がいがある人もない人も集える森音の会は、他愛のない会話から情報を交換し、支えあえる貴重な場所。「子どもたちが人とふれあうこと、つながることを意識してくれたら」と代表の小池さん。子どもたちや家族、そして地域も誰もが心地いい距離感のなか、森音の会では今日も優しい時間が流れています。



燃えるロックを魅せてやる！
The 消防 Rockers

仕事と家庭の日々から、青春を取り戻すため、再び楽器を手にした6人の燃える消防団員！

ホームページ: <https://syoubowrockers.localinfo.jp/>

本業は別にありながら、火災や災害が発生すれば、いち早く駆けつけて活動にあたる地域の消防団。加えて、地区のお祭りやイベントでの警備等の活動にもあたり、頼もしくて身近な存在です。ところが、ライフスタイルが変化してきたことから、最近では団員の確保が難しくなっています。

そこで立ち上がったのが、かつてプロのミュージシャンを志し、現在は中金町のスタジオを営む松井さん。「消防団のやり

がいや苦勞をロックンロールで表現して、親しみを持ってもらえないだろうか」と、仲間とともにバンド「The 消防Rockers」を結成したのがはじまり。トレードマークは消防団風ユニフォームとヘルメット。ロックの名曲を、消防団員ならだれもが共感する歌詞に置き換えてプレイするのが彼らの特徴です。毎年秋に行われる石野地区芸能まつりでなんと石野歌舞伎の前座を務め、歌舞伎役者さながらにおひねりを浴びるという鮮烈なデビューを果た

しました。その後、当初3人だったメンバーが6人に増え、2枚のアルバムをリリース(残念ながら非売品。曲は公式ホームページからダウンロード可)。ロックファンなら、そのパフォーマンスの本物ぶりがわかるはず。今では地元スポットの岩倉神社農村舞台や足助消防署にとどまらず、豊田市内の各イベントや、名古屋の老舗ライブハウスにも出演しています。



昔懐かし、駅舎カフェ
**旧名鉄三河線
三河広瀬駅・西中金駅**

旧駅舎を再活用して
地域のふれあいステーションに。
映えスポットとしても人気！

開催場所と営業時間:
三河広瀬駅 東広瀬町神田41-6 毎週土・日曜日 午前9時～正午
西中金駅 中金町前田766-2 毎週土・日曜日 午前10時～午後3時

平成16年(2004)3月、名鉄三河線の猿投駅以北は廃線となり、石野地区内にあった三河広瀬駅、終点の西中金駅もその役目を終えました。その後、それぞれの駅周辺に暮らす人々が、「かつてのように人が集まって交流する場にしたい」との思いから、様々な活動を始めました。その一つが、駅舎を利用した週末限定のカフェ。五平餅やコーヒーを目当てに人々が集い、語らう憩いの時間です。また、旧三河広瀬駅ではマレットゴルフが楽しめ、旧西中金駅近くには本格的な廻り舞台を備えた「岩倉神社農村舞台」という見どころもあります。いずれも「インスタ映え」するスポットとして、週末以外にも訪れる人が少なくありません。



安い、おいしい、安心！
**広瀬駅前産直ひろば
西中金駅軽トラ市**

新鮮な地産の野菜が買える
駅舎隣のローカルマーケット

開催場所と営業時間:
広瀬駅前産直ひろば 三河広瀬駅
5～9月の毎週土・日曜日
(5～9月 午前8時30分～正午 10～12月 午前9時～正午)
西中金軽トラ市 西中金駅
4～9月の第2・第4土曜日 午前9時30分～正午



旧三河広瀬駅では、地域の高齢者が育てた野菜を売る「広瀬駅前産直ひろば」が、そして旧西中金駅では石野で採れた野菜を軽トラで売る「西中金軽トラ市」が開かれています。おいしい野菜が手ごろな価格で手に入ることから、遠くから通う常連客も少なくありません。生産者の顔がしっかり見えることや、他愛のない会話を交わせるのも魅力の一つ。石野では、野菜の地産地消は当たり前のライフスタイルです。バスケットを片手に、あなたも訪れてみませんか？